

新たな学校への歴史の継承について

前回ワークショップでいただいた新たな学校への歴史の継承についての意見をまとめました。追加で検討してほしい内容や各校の歴史として残すべき物品、活動について皆さまからご意見をいただきたい。

1 ワークショップでの意見

【デジタル保存】

- ・今後、通学する子どもたちにとって必要なものであれば残す。
- ・カメラも高性能になっているので、必要だと思う物品を写真に撮り、ハードディスク等で保存。必要な時に取り出せればよいので、とにかくデータで残す。

【卒業制作】

- ・希望する人が取りに来れるように、一定期間公開し、取りに来なかったものは処分。
- ・個々への返却は難しい。返却のためのイベントを開催するか。
- ・返却するまでの間の物品の管理や保管場所についても課題がある。
- ・物品を残す際は、基準を決めて残す残さないを決める。

【校歌について】

- ・歌は新しい学校のホームページなどで聞けるようにする。
- ・「愛の鐘」で流せないか。季節によって、鶴川第二小・鶴川第三小・鶴川第四小を変えられたら良い。
- ・新しくできる学校の予鈴（チャイム）で使えないか。

【現校舎の記録の残し方】

- ・外観はドローンを飛ばして撮影したい。
- ・鶴川第三小の和室は特徴的なので、一定期間和室を開放する。
- ・工事が始まる前に色々な方に学校を使ってもらおう。
- ・写真を残すだけで充分。
- ・校舎を取り壊す前、取壊し中、取り壊した後の記録を残す。
- ・校舎にまつわるエピソードを残す。

2 検討スケジュール（変更）

ワークショップでの意見を踏まえ、継承・保存方法の具体的な内容を学校及び教育委員会で検討しています。これらの内容の検討状況は、12月に結果報告をします。

年度	2023年度											
月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
協議会	●			●				●		●	●	
物品	継承・保存方法 検討、整理							検討 結果 報告	継承に向けた準備等			
活動	活動内容の継承方法を実施主体において検討											